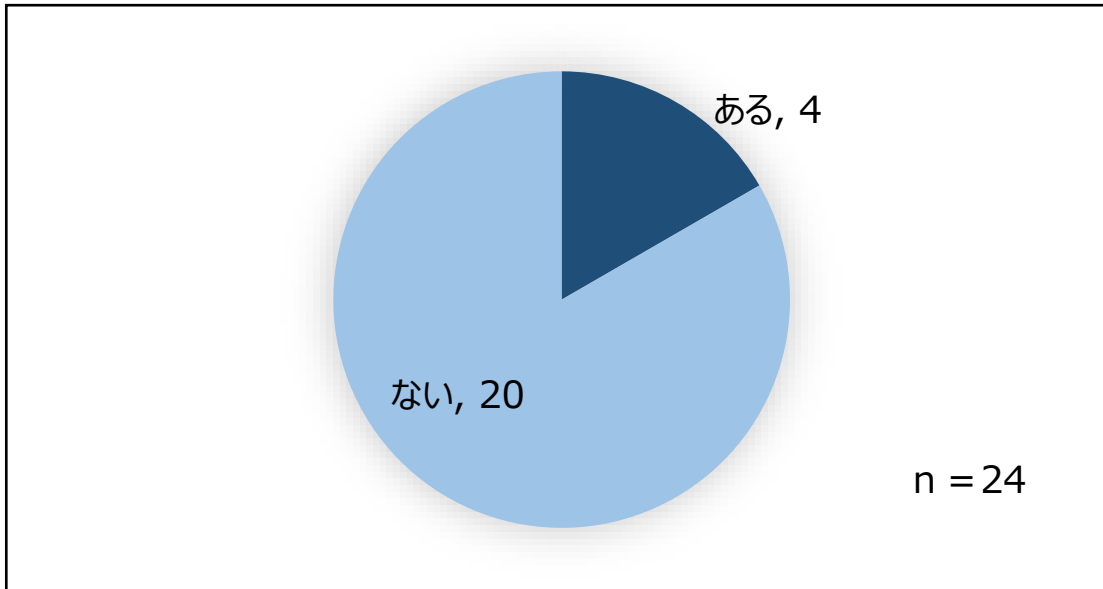


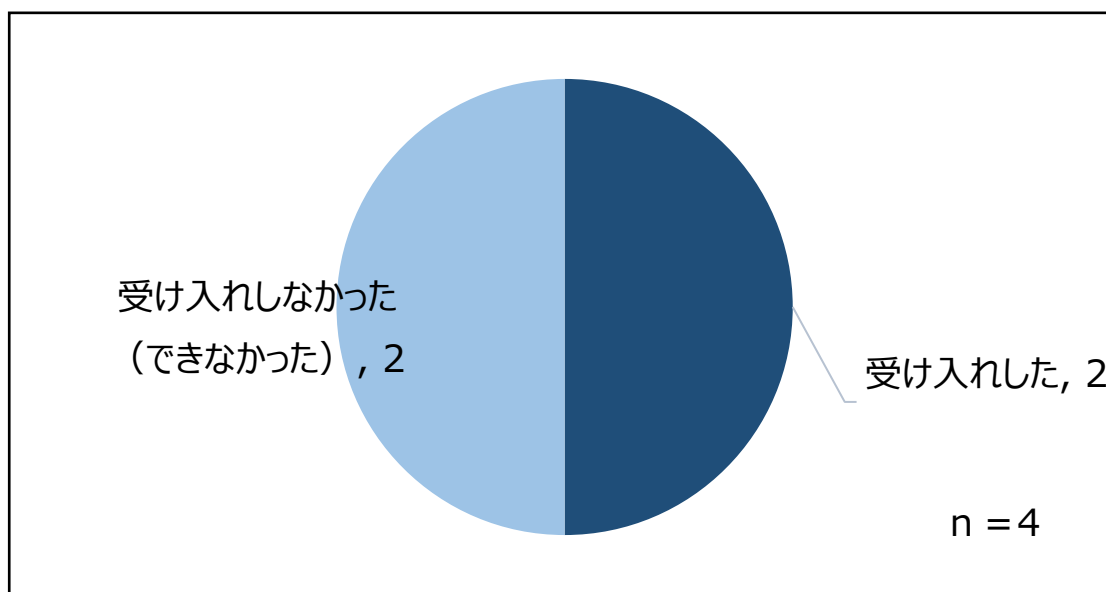
### 【避難入院に係るアンケートとりまとめ結果について】

問1 これまでに避難入院の相談を受けたことがありますか。



問2 (問1で避難入院の相談を受けたことが「ある」と回答された方にお聞きします。)

相談を受けて、実際に受け入れましたか。



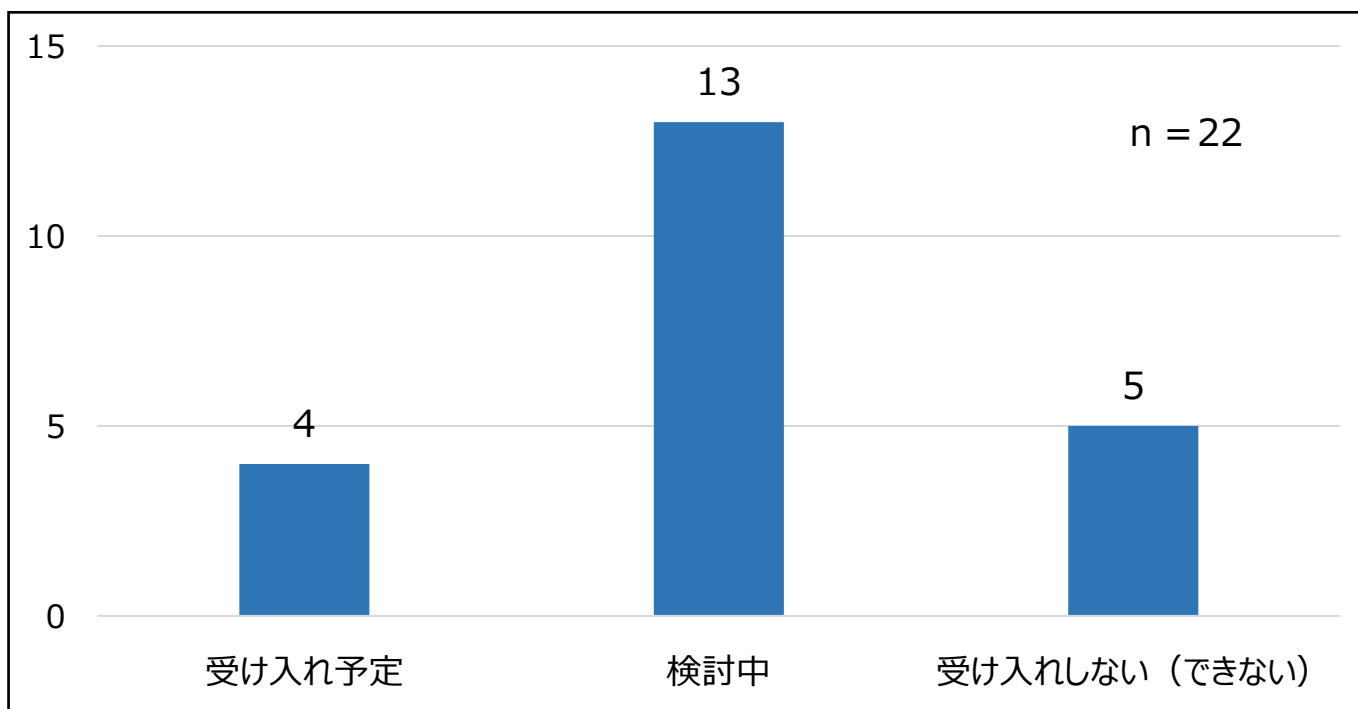
問3（問2で「受け入れた」と回答された方にお聞きします。）

- ・受け入れにあたり条件があれば具体的に御記入ください。
- ・避難入院を受け入れた際の状況について、具体的に御記入ください。

<p>(条件)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・患者の状態と病棟の空いている部屋が適合すること。</li><li>・レスパイト入院については、通常7日前、緊急時3日前の申込みとなっているが、避難入院の場合は、患者様の状態および災害の種類等により個別で日程調整をおこなっている。</li></ul>
<p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年1月24日、80代男性、慢性腎不全で人工透析の通院が必要な方。積雪により透析の送迎が困難になることが予測されたため避難入院を受け入れた。</li><li>・令和6年 台風10号が接近する際、ご家族より台風の進路が読めず、自家発電の準備はしているが、浸水した場合が不安との相談あり。8月30日～9月2日の期間で避難入院の受け入れとなった。また、ご家族が同時に消防へ相談しており、災害時の緊急避難入院として救急車で搬送となった。※ 60代女性、筋萎縮性側索硬化症</li></ul>

問4（問1で避難入院の相談を受けたことが「ない」と回答された方、及び問2で「受け入れなかった（できなかった）」と回答された方にお聞きします。）

今後、避難入院を受け入れる予定はありますか。



問5（すべての方にお聞きします。）

避難入院を受け入れるにあたり、課題と感じていることがあれば御教示ください。

- ・ 大学病院の特性上、あらかじめ避難入院として受け入れることは困難。災害時には重症の負傷者を受け入れていく必要がある。さらに、難病患者さんを優先的に対応することも困難。
- ・ 受け入れは、慢性期病棟であるため、予定外の入院は医師の体制や空きベッドの調整が必要であり、緊急の入院の受け入れは、難しい。
- ・ 当院の立地が長島と水害等に不安がある場所な為、受け入れる方がリスクになる可能性がある。
- ・ 医療療養病床の為、予約入院が基本。必要な「今」に対応できる体制が整っていない。※人工呼吸器等の準備に時間がかかる。
- ・ ALSの方の災害時電源確保の相談がありましたが、急性期病院の機能上、急性期治療が必要な方優先で、確実に電源確保やレスパイト、避難入院が案内できるか不透明である。
- ・ コロナの時のように保健所（県の采配）主導でベッド割振りをしてもらった方が確保しやすいと思う。
- ・ レスパイト入院としては、介護者の疾病や感染、住宅改修や転居、法事や農繁期のケア困難など含め様々な相談をいただく。これまで避難入院としての具体的な相談は受けていないが、相談があれば他のレスパイト入院と同じように受け入れ対応できればと考える。
- ・ 当院は災害拠点病院に指定されており、災害時は難病などで医療管理が必要な患者の受け入れを行わなければならないと思われるが、地域の医療的ニーズのある患者の把握ができていない。そのため実際避難入院が必要時に、入院調整や受け入れがスムーズにできるかなどの不安がある。
- ・ 自院で診療を受けている患者以外からの相談時、患者の情報などもゼロから確認する必要があり対応が遅れてしまうと考えられる。また搬送方法なども課題にあると思われる。
- ・ 受入れ希望者と受入れ可能施設との情報共有や連絡方法などの連携。
- ・ かかりつけでない場合、医療的ケアや看護ケアの具体的情報が少ない。現場の看護師が対応可能な範囲と限らない。
- ・ 必ずしもベッドの空床があるとは言えない。
- ・ 人工呼吸等の医療機器の準備や持ち込みの機器がある場合の取り扱い。
- ・ 現時点では避難入院を受け入れしていませんが、受入を検討する必要はあると考えている。
- ・ 人工呼吸器装着中の場合、対応ベッド・担当医の確保など。長期入院にならないように、また退院後の療養先が決まっていることを希望する。
- ・ 専門医師や医療機器の不足。
- ・ 人工呼吸器の台数が限られているなかで、すでに必要な患者が複数入院している場合、物理的に受け入れが厳しいと考える。その時の重症患者数によっては、受け入れできないこともある。
- ・ ベッドの空き具合と設備面。
- ・ 設備が不十分な点。
- ・ 台風・豪雨災害が増えてきているため、在宅療養中の方の不安について察するが、急性期病院としての役割もあり、在宅療養中の方のための病床確保は容易ではない。医療機関として災害時に担う役割が多く、福祉避難所や支援の必要な方を対象にした避難所運営について行政の支援がどのように行われているのか教えていただきたい。
- ・ 小児科常勤医が1名ということもあり、医師の判断により、避難入院の受け入れをできないケースがあった。
- ・ かかりつけではない患者への対応(病態や治療内容把握の困難さ等)。
- ・ 日常的に取り扱っていない医療機器(人工呼吸器等)の使用、管理。
- ・ 適切な病床の確保、管理(災害発生時は大きな混乱が予想される)等。
- ・ 患者へ連絡するタイミングが難しいように感じる。